

令和7年度おもいやりあふれるまち阪南まち・ひと・しごと創生委員会 会議録	
日時	令和7年10月17日（金）14時00分～16時00分
場所	阪南市 防災コミュニティセンター 1階
出席者 (敬称略)	<p>委員 久（委員長・近畿大学）、下村（副委員長・大阪公立大学）、川上（大阪府）、 川端（市民）、小嶺（関西エアポート）、小森（南海電気鉄道）、後藤田（市民）、 杉田（西日本旅客鉄道）、出口（ジェイコムウエスト）、土生（商工会） 【オンライン】岡野（大阪観光局） （欠席）久保田（連合大阪）、佐久間（和歌山大学）、玉井（池田泉州銀行）、 畠岡（自治会連合会） 企画課：森貞、藤原、矢島、太田、大谷、人見</p>
傍聴	2名
議事事項	<p>① 開会 ② あいさつ ③ 委員の紹介 ④ 委員長、副委員長の選出 ⑤ 議事 （1）第2期総合戦略の進捗状況（令和6年度主な取組状況）について （2）第3期総合戦略の進捗状況（令和7年度主な取組状況）について （3）意見交換 （4）その他 ⑥ 閉会</p>
会議資料	<p>① 次第 ② 名簿 ③ 配席図 ④ 令和6年度 第2期阪南市総合戦略の取組について【概要版】 ⑤ 阪南市総合戦略の取組について ⑥ 第2期総合戦略に掲げる重要業績評価指標（ＫＰＩ）の進捗状況 ⑦ 地方創生テレワーク交付金・デジタル田園都市国家構想交付金を活用した事業の実施状況等 ⑧ 令和6年度地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況及び効果検証 ⑨ 令和7年度地方創生臨時交付金の活用予定事業一覧 ⑩ 令和6年度企業版ふるさと納税寄附実績報告書 ⑪ 第2期阪南市総合戦略 ⑫ 阪南市人口ビジョン（改訂版） ⑬ 第3期阪南市総合戦略</p>

	⑯ 阪南アンバサダーちらし
議事内容	
1.開会	
事務局	<p>定刻になりましたので、おもいやりあふれるまち阪南 まち・ひと・しごと創生委員会を始めさせていただきます。</p> <p>皆様方におかれましては、ご多忙のところ、本委員会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。</p> <p>私は、本委員会の事務局を担当させていただいております、阪南市未来創生部企画課 課長の矢島でございます。</p> <p>本日は、司会を務めさせていただきますので、どうぞ、よろしくお願ひいたします。</p> <p>本日の出席委員は、委員総数15名に対し、11名となっておりますので、おもいやりあふれるまち阪南まち・ひと・しごと創生委員会条例第6条第2項の規定により、本日の会議が成立しておりますことをご報告いたします。</p> <p>なお、大阪観光局の岡野様は、オンラインにて出席いただいています。また、連合大阪の久保田様、和歌山大学の佐久間様、自治会連合会の富岡様、池田泉州銀行の玉井様は所要のため欠席の旨、あらかじめご連絡を頂いておりますことを併せてご報告申し上げます。</p> <p>なお、本日の傍聴者は2名です。</p> <p>本日の進行につきましては、ご配付させていただいております、会議次第に基づき、進めさせていただきます。</p> <p>それでは、まず、開会にあたりまして、上甲阪南市長より、ご挨拶を申し上げます。</p> <p>上甲市長、よろしくお願ひします。</p>
2. あいさつ	
市長	<p>市長の上甲です。</p> <p>まち・ひと・しごと創生委員会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。</p> <p>皆様方には、まち・ひと・しごと創生委員会委員をお引き受けいただき誠にありがとうございます。</p> <p>国では急速な少子高齢化の進行に的確に対応し、人口減少に歯止めを掛けるとともに、東京への過度な人口集中を是正し、将来にわたって活力のある日本社会を維持していくため、地方創生の取組が進められてきました。しかし、未だ急速なペースで人口減少や少子高齢化が進行しており、生産年齢人口の減少が経済成長の制約につながることが懸念されています。令和4年度には、国から「デジタル田園都市国家構想」が新たに示され、従来の総合戦略の流れを継承しつつ、デジタルの力を活用し、地方創生の取組をより発展させる内容が盛り込まれました。</p>

	<p>本市でも、若年層の就学・就職に伴う転出増加や子育て世代の転入減少などにより、人口は減少傾向にあり、若年層の流出を防ぐために、本市の強みである自然環境、ゆとりのある居住環境などを生かすとともに、仕事と生活の両立の不安を解消することで、結婚、出産、子育ての希望をかなえていくことが必要となっています。</p> <p>これまで、平成27年に第1期総合戦略を、令和3年に第2期総合戦略を、令和7年に第3期総合戦略となる「デジタル田園都市構想総合戦略」を策定して、子育て世代をメインターゲットに地方創生を推進し、若年層の流出を防ぐとともに、地域の活性化を図っています。</p> <p>本日の委員会では、総合戦略に関する主な事業について、令和6年度の実績などを事務局から説明させていただきます。</p> <p>皆様には、各種事業の進捗状況についてご協議をいただき、本市の創生総合戦略の推進にご協力いただきますよう、よろしくお願ひいたします。</p> <p>限られた時間の中ではありますが、委員の皆さまには、本市のまちづくりのため、お力添えを賜りますよう、心からお願ひを申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。</p>
--	--

3. 委員の紹介

事務局	<p>次に、本日、ご出席をいただいております、委員の皆様のご紹介をさせていただきます。また、皆様の委嘱につきましては、大変恐れ入りますが、略儀ながら委嘱状をお手元にご配付させていただいておりますので、委嘱状の交付に代えさせていただき、ご確認、ご了承をお願いできればと存じます。</p> <p>それでは、私の方で、お手元の名簿順にご紹介させていただきますので、お呼びした順にその場にて立礼賜りますようよろしくお願ひします。</p> <p style="text-align: right;">(委員の紹介)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、市事務局側の紹介をさせていただきます。</p> <p>先ほど、挨拶をさせていただきました、上甲市長です。</p> <p>以下、</p> <ul style="list-style-type: none"> • 未来創生部長の森貞です。 • 同じく理事の藤原です。 • 企画課主幹の太田です。 • 同じく、総括主事の人見です。 • 最後に私、企画課長の矢島です。 <p>よろしくお願ひいたします。</p>
-----	--

4. 委員長・副委員長の選出	
事務局	<p>続きまして、委員長・副委員長の選出を行いたいと存じます。</p> <p>委員長選出にあたりましては、本委員会条例第5条第2項により、「委員長は、委員の互選によって定める。」となっております。皆様、いかがでしょうか。</p>
委員	前年に引き続き、久委員に委員長をお願いしたいと思います。
事務局	<p>ただいま、土生委員より、久委員のご推薦のご発言がございましたが、皆様いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: right;">(異議なし)</p> <p>ありがとうございます。ご異議が無いようでございますので、久委員に、お願いいたします。</p> <p>それでは、久委員、委員長席へ移動をお願いいたします。</p> <p>続きまして、副委員長の選出を行いたいと存じます。</p> <p>副委員長の選出につきましては、本委員会条例第5条第4項により、「副委員長は、委員のうちから委員長が指名する。」となっております。つきましては、久委員長より、指名をお願いしたいと存じます。</p>
委員長	副委員長につきましては、昨年度に引き続き、下村委員にお願いしたいと思います。
事務局	<p>久委員長より指名されましたので、下村委員が副委員長に選出されました。</p> <p>それでは、下村委員、副委員長席へ移動をお願いいたします。</p> <p>それでは、久委員長からひとと、ご挨拶をお願いしたいと存じます。</p>
委員長	<p>前回に引き続き委員長に選任された久です。</p> <p>上甲市長の話もありましたが、国も力をいれて地方創生に取り組んでいますが、効果がわかりにくいのが現状です。本日は、阪南市の地方創生の進捗状況を確認していくことになります。皆様のご意見を頂ければと思っております。どうぞよろしくお願ひします。</p>
事務局	<p>久委員長、ありがとうございました。</p> <p>なお、誠に申し訳ございませんが、市長につきましては、ここで退席させていただきますが、ご了承ください。</p> <p>次に、資料のご確認をお願いいたします。</p> <p>事前に配布していました</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・配席表 ・名簿 ・資料〇 令和6年度 第2期阪南市総合戦略の取組について【概要版】 ・資料 1-1_阪南市総合戦略の取組について ・資料 1-2_第2期総合戦略に掲げる重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 1-3_地方創生テレワーク交付金・デジタル田園都市国家構想交付金を活用した事業の実施状況等一覧 ・資料 1-4_令和6年度地方創生臨時交付金を活用した事業の実施状況及び効果検証 ・資料 1-5_令和7年度地方創生臨時交付金の活用予定事業一覧 ・資料 1-6_令和6年度企業版ふるさと納税寄附実績報告書 ・第2期阪南市総合戦略 ・阪南市人口ビジョン（改訂版） ・第3期阪南市総合戦略 ・阪南アンバサダーちらし <p>の 14 点です。資料不足等、ございませんでしょうか。</p> <p>続きまして、本市では、「会議の公開に関する指針」に基づき、会議を原則公開としておりますので、傍聴を希望される方には、傍聴していただくとともに、会議の議事録は、ウェブサイトにて公開させていただきますので、ご了承願います。</p> <p>それでは、進行につきましては久委員長にお願いしたいと存じます。久委員長、よろしくお願いいたします。</p>
(1) 第2期総合戦略の進捗状況（令和6年度主な取組状況）について	
委員長	<p>それでは、議事次第に基づき、進めさせていただきます。</p> <p>次第の5. 議事案件、「(1) 第2期総合戦略の進捗状況について」を事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、第2期総合戦略に基づく令和6年度の主な取組にかかる進捗状況等について、報告いたします。</p> <p>資料 1-1 をお願いします。</p> <p>まず、3ページ、はじめに総合戦略の概要を説明いたします。総合戦略は、人口減少に歯止めをかけるとともに、地方創生を加速・深化させるため、まち・ひと・しごと創生に関する基本的な方向性や具体的な施策をまとめた計画です。</p> <p>本市では、平成 27 年に第1期を、令和3年に第2期を、令和7年に第3期を策定しています。</p> <p>次に4ページ、総合戦略の役割は、国の地方創生関連交付金等の獲得に活用することや、企業版ふるさと納税獲得のための地域再生計画として活用などがあります。</p> <p>5ページ・6ページにあるとおり、総合戦略は、PDCA サイクルに基づき、毎年度、行政内部に加え、学識者や公募市民等で構成する、本「まち・ひと・しごと創生委員会」からも意見をいただき進捗管理を行っています。</p> <p>本日の創生委員会では、総合戦略の推進への助言として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6～7年度の進捗状況報告に対する意見 ・令和8年度に向けた取組提案やアイデアなどをお願いするものです。

<p>これより、第2期総合戦略に基づく令和6年度の主な取組について説明いたします。</p> <p>資料1-1の資料のボリュームが多いため、昨年のまち・ひと・しごと創生委員会の意見を踏まえて、資料0として概要版を作成しています。</p> <p>それでは、概要版にそって、令和6年度の総合戦略にかかる主な取組をご報告いたします。</p> <p>資料は、4つある基本目標別に、主な取組を掲載しています。資料1-1では、17から31ページに該当するものです。</p> <p>資料の左、基本目標1では、阪南市では初となる、シビックプライドを育む共創プレイスとして、市民等とのプレイスメイキングを通した効果的なまちづくりの手法を探るため、「こんなイベントをやってみたいけれど場所がない。」「駅近という環境を活かしてこんなことやってみたい。」といった想いを持つ様々な方を対象に、阪南市役所前駐輪場跡地で、「まちづくりチャレンジトライアル・サウンディング」を昨年の9月から実施し、7カ月間で11団体、62日の使用があり、キッチンカーの出店や、ダンスチームの撮影会場、大学とのコラボ事業、マルシェ、プレーパークなどが行われました。</p> <p>出店者のヒアリングでは、「継続して出店することで客層が広がった」、「最初は利用者の殆どが市役所職員だったが、徐々に市民の利用が増えた」、「阪南市出身で今は市外に住んでいるが、故郷を盛り上げたい」、「期間延長してほしい」などの声がありました。</p> <p>各種事業やイベントのニーズ、採算性等を検証・把握していただき、今後のまちづくりに活かしていただけることを期待しています。</p> <p>次に、尾崎駅周辺エリア活性化プロジェクトについては、阪南市の中心市街地である尾崎駅周辺を対象としたエリア価値の向上として、公民連携でまちづくりを進めるエリアプラットフォーム形成に向けて、アクションプランの検討や、事業者ヒアリング、まちづくり勉強会、ワークショップなどを実施しました。</p> <p>ワークショップでは、地元の方、企業のほかに、連携している教育機関、学生などにも参加いただき、若者が活躍できる取組にもつながることを期待しています。昨年度の取組については、泉州地域の課題発信を行う泉州地域自治体ピッチ＆マッチング会にて発表を行っています。本プロジェクトは今年度も継続して行っており、昨年度の検討内容を踏まえて、今年度は、11月に社会実験を3種類行うことを見込んでいます。</p> <p>これらの取組は、活動や共創が生まれるために仕掛けづくりの構築につながるものと考えています。</p> <p>次に、資料の右上、デジタル田園都市国家構想交付金（実装タイプ）を活用した事業では、高齢者自立支援介護に向けた認定調査のデジタル化などをはじめ、3事業が国から採択されて、スマートシティ推進に取り組んできたところです。主な成果の1つとして、行政手続オンライン化が年々増加してきています。</p> <p>デジタル田園都市国家構想交付金等を活用した事業の評価などは、資料1-3でまとめています。</p>

	<p>次に2枚目、基本目標3では、観光庁の補助金を活用して、インバウンド促進としての桜フェスティバルや秋祭りでの観覧席の設置、本願寺別院での日本の文化体験、また、自治体SDGsモデル事業としての里山・里海、カーボンニュートラルの取組である「阪南市グリーンファーム（茶畑）維持管理事業」と、SDGsの達成をめざす機運の醸成とさらなる取組の推進を図る「はんなん・Co-ベネフィット創出プロジェクト」については、企業版ふるさと納税を活用しています。</p> <p>また、資料の右上、移住定住の取組では、大阪府内初となる近隣市町と共同の移住相談セミナーの開催などの移住定住の促進に取り組んできました。</p> <p>一概にこの取組の効果とは言えませんが、主な成果の1つとして、転出者数は、前年から96人減少し、社会増減数についても91人減少となっています。第2期総合戦略の計画期間である令和3年から目標に向けた上向き傾向になっています。</p> <p>次に、基本目標4では、特産品である牡蠣に注目し、廃棄する牡蠣殻を活用した「牡蠣とマッチビール」、大阪大学の学生とコラボで開発した牡蠣アラレや、特産品のトマトとイチゴを使ったクラフトビール、匠のippinの宝箱などの地域資源を活かした商品開発を行ってきたところです。特に「牡蠣とマッチビール」は、大阪・関西万博での販売や、期間限定でふるさと納税の返礼品としての商品化も行いました。</p> <p>次に、資料1－1、19ページをご覧ください。</p> <p>デジタル田園都市国家構想交付金（実装タイプ）の制度が始まった令和4年度から令和6年度までの国からの採択状況については、7件となっており、全国3.7件、大阪府4.4件よりも多く、堺市以南の9市4町でも最上位となっています。</p> <p>特に、令和4年に導入した「地域デジタル支援アプリ」については、次のページにあるとおり、令和7年3月に総務省が発行した「自治会等における地域活動デジタル化ハンドブック」に、全国の先駆的な取組として、自治体事例集に掲載されました。このアプリの導入による成果は、自治会連合会での導入率は、60ある自治会のすべてで導入しており、100%となっています。このアプリの導入により、市から自治会への情報の迅速な提供、ペーパーレス化、回覧板負担の減少につながっており、また、自治会内では、紙の回覧板をほぼ廃止している地区もあり、令和6年度は2自治会が新たにスタートし、令和6年度末時点で3自治会が導入しています。アプリ満足度では、自ら情報を取得しに行かなくてもプッシュ通知型で情報が届くほか、役員の負担軽減など、高評価をいただいています。今後もアプリの導入によるメリットを、自治会が活動を発表する地域の自慢大会などの場を活用して、他の自治会にも広がることを期待しています。</p> <p>21から23ページまでは、デジタル田園都市国家構想交付金を活用した3事業の事業評価をまとめています。</p> <p>31ページには、令和6年度の臨時交付金の内容をまとめています。臨時交付金の事業については、事業個々に効果検証することとされており、事業終了に伴い、事業所管課にお</p>
--	---

	<p>いて効果検証を実施しています。事業の詳細や効果検証は、資料1－4にまとめています。令和7年度は、資料1－5にまとめています。</p> <p>32ページには、企業版ふるさと納税についてです。</p> <p>令和6年度は、令和5年度と同じく6件で、金額は1,610万円の寄附がありました。</p> <p>活用事業は、先ほど説明しました、海の学校や、外国語指導助手配置、グリーンファームのほか、人材派遣にも活用しています。詳しくは、資料1－6にまとめています。</p> <p>次に34ページは、指標の進捗状況をまとめています。</p> <p>総合戦略では、目標値は令和6年度のみ記載していますので、毎年度、集計では、前年度からの比較と、令和6年度達成などの把握をしています。</p> <p>効果検証として、「★：令和6年度目標値を達成済」、「○：目標値に向け順調に推移（評価前年度の実績以上）」、「○：目標値に向け推移（評価前年度と同じ）」の合計（21件）は指標全体の約半数となっており、具体的な施策の進捗状況としては、概ね順調に進捗しているものと考えます。</p> <p>また、人口面においては、令和6年の目標である「社会増減±0」が達成できなかつたものの、KIPの転入者数が令和4年から約1,300人台を推移している一方で、転出者数が令和5年から96人減少しているなど、着実に目標値に向けて推移しています。</p> <p>今後、順調に進んでいる施策については、引き続き推進し、より高い成果をめざすとともに、また、第3期の総合戦略に引き継がれている施策もあることから、目標達成について課題が生じている施策については、要因分析を踏まえ、必要に応じて見直しを行い、成果が達成できるように実施していくとしています。43の指標の進捗状況の詳細は、資料1－2まとめています。</p> <p>第2期総合戦略の進捗状況の説明は以上です。委員の皆様には、令和6年度の進捗状況報告に対して、ご意見や次年度に向けてのアドバイスなどをいただけますと幸いです。</p> <p>よろしくお願ひいたします。</p>
委員長	何かご質問、ご意見はございますでしょうか。
委員	34ページの人口の転出入のグラフがあります。転出が下がっている内訳の年齢層で見ると、どの年代が下がっているか教えてください。
事務局	直近のデータですので、詳細は把握できていません。今後把握させていただきます。
副委員長	誰もが健康で幸せ安全なまちづくりを充足させるために、トライアルサウンディングを実施したのか。トライアルサウンディングの取組はなぜ実施しようとしたのか。また、前年度の評価を受けて、どのような実績になったのか教えてほしい。イベント数は変わらないが、中身が充足したのかなどの説明していただきたい。
事務局	今後、説明できるようにしたいと思っています。実施詳細について、確認させていただきます。
委員長	今年度の取組について、次年度評価になるので、ある程度担当課に書き込めるフォーマッ

	<p>トを入れて、実績がわかる体制を整える必要があると思います。</p> <p>今回は、令和6年度までの取組の内容を記載していますので、その取組内容を記載し、実施して、課題として残ったのか、成果が出たのか、PDCAを評価して、説明していただければ、わかりやすいと思います。</p>
委員	令和6年度の子育て世代の希望で、外国人と英語を使ってコミュニケーションしたいという人が、8割いるというデータがあります。阪南市には、コミュニケーションの場づくりや、雰囲気が醸成されるような取組はありますか。
事務局	学校では、ALTの教育は実施しています。他に、外国人とコミュニケーションを取れる機会の提供する具体的な取組はない状況です。
委員長	<p>参考として事例を紹介します。</p> <p>2020年代は、コロナ禍もあって海外渡航が難しかったため、リモートで台湾の高校生との交流を続けていた学校があります。現在はコロナ禍も明け、台湾の高校生に来日いただいて交流する取組を行っています。同世代の方が交流できているのが非常によく、SNSでの連絡先交換など、継続的な交流が生まれています。</p> <p>台湾というのはもう一つのポイントであって、台湾の生徒もノンネイティブなので、両方も頑張って英語をしゃべろうとするので、阪南市でもそのような交流ができればいいと思います。</p>
副委員長	個別の話になるが、南海電鉄が、難波駅で、ファミリー向けの「大阪詣」を実施しており、南大阪を知ってもらうためのイベントで、非常に面白い取組でした。民間の活力を生かして地方創生につながると考え、南海電鉄に継続して実施していただけるように依頼しました。このような仕掛けを公民連携で進められないか、検討をお願いしたいです。
委員	弊社のお話をあげていただいてありがとうございます。弊社の会長が大阪商工会議所のグレーター南の担当でしたので、南大阪を盛り上げる観点で活動しています。地域の產品をプロモーションする部署では、難波駅でPRマルシェなどを実施しており、阪南市にも出展いただくなどしておらず、そのような取組で地域の活性化をしたいと思っています。
副委員長	それは恒常的なイベントですか。
委員	毎回、阪南市をお声掛けさせていただいており、恒常的なイベントですが、状況に応じて単発なイベントになることもあります。
委員長	兵庫県の北部地域では、婚活ハイキングを電鉄会社が実施しています。対象者は、沿線にお住まいの方とその親族の方を対象に実施していました。ベッドタウンとニュータウンを結んでいる路線ですので、人口減少になっています。若い方が居住してくれると、鉄道の利用も見込めるので、win-win関係で取り組んでいました。また、地域情報については、J:COMさんが一番知っていると思いますので、J:COMさんが阪南市の地域情報を取りまとめていただいて、来年度は資料を作成していただければありがたいと思っています。

委員	第2期の総合戦略のペルソナ資料を見せてもらいました。本市にはJRと南海電鉄の両路線があり、都会過ぎず、ちょうどいい田舎で、海も山も川もあり、まさに阪南市のいいところを聞き取り記載しておりました。記載内容はその通りだなと思い、改めて子育てしやすいまちだと思いました。このペルソナについては、どのような方を対象に聞き取りを行いましたか。
事務局	第2期総合戦略のペルソナについては、阪南市にお住まいの方や移住されてきた方にフォーカスヒアリングを実施させていただき掲載しています。
委員	この資料は総合戦略にしか掲載されていませんか。
事務局	そのとおりです。
委員	この資料がまさに移住定住につながった理由が揃っている資料だと思った。こういう声を多く集めてもらいたいし、実際に阪南市に子育てされている方などの声を聞いて、移住を考えている方や、移住された方にも広くこの資料を活用していただければいいと思いました。 次に、第2期総合戦略のP5にそれぞれの項目の評価として、「○」、「▲」や「×」など、記載がありますが、安心して子育てできる子育てに「▲」がついています。この項目を上げていくための検討の場はどこにありますか。
事務局	第2期総合戦略の該当ページに記載されている評価については、第1期総合戦略の評価を掲載しています。その評価に対するご意見を踏まえて第2期総合戦略を策定しており、その際に評価指標が変更されることもあります。また、現在は第2期総合戦略の状況についてご意見をいただき、その内容を踏まえて第3期総合戦略を策定し、取組を進めています。
委員長	副委員長からの意見でもあったが、令和5年度の評価はどうのようにされ、令和6年度の動きがこのようになったとわかる資料があれば、わかりやすいのではないかと思いました。また、前半の話にあったペルソナについて、昔は移住定住者の声を見られるサイトが市のウェブサイトの一番初めにリンクとしてありましたでしたが、現在は見られなくなっています。非常にもったいないと思っています。現在そのサイトはどうなりましたか。
事務局	阪南市移住定住WEBサイトのことだと思いますが、市のプロモーションの関係で、現在は市のトップページからなくなっていますが、サイトの運営は継続しています。当初は大きな反響があり、10万アクセスを超えるなど、閲覧数が伸びました。移住者の方へ実際の暮らしをヒアリングさせていただき、わかりやすく紹介させていただいています。再度、市のTOPページにリンクを掲載できるように調整させていただきます。
委員長	岬町は、J:COMさんに協力していただいて、テレビで岬暮らしという番組を放映しています。テレビで観られるというのが非常にインパクトがあつていいと思います。検討していただけないか。
委員	テレビで観られるようになれば、30・40代だけでなく、高齢者の方もご覧いただけるので、ぜひやっていただきたいなと思いました。

	また、資料1－1の9ページですが、人口約4.4万人を確保すると人口ビジョンを記載していますが、根拠について教えてほしい。
事務局	人口4.4万人については、国の方で、人口1億人をめざすという目標に合わせて、阪南市の目標を設定しています。社会増減について、「〇」にすると設定させていただき、合計特殊出生率を国から示された2.07で検討し、4.4万人をめざすということになりました。
委員	4.4万人をめざすと記載するのは、簡単ですが、具体的な策はどのようなことを考えていますか。
委員長	その内容を検討しているのが、総合戦略であり、この委員会で検討していくことです。
副委員長	<p>阪南市は、子どもたちの環境学習を起点に、牡蠣小屋であったり、海辺にイタリアンがあったり、里海を活用した取組はできていると思うが、山の方が弱いと思っています。里海の取組をするのであれば、面的な取組として、里山の取組を強化して、海と山のネットワークを考えてほしい。1つの市ができるのかという課題もありますが、環境省も力を入れていますので、総合的に関係人口を増やす策として検討していただければいいと思います。</p> <p>来年、近隣市では、天皇皇后両陛下がお越しになられることとなっていますので、りんくうが注目されており、りんくうも海側ですので、山側が、注目されません。山を利用するのに、河川の活用を考えて、一体的に検討していただければと思っています。PDC Aを回す中で、商工、観光や企画も交えて関係人口を増やす取組として山の方も検討していただければいいと思いました。</p>
委員長	<p>ご指摘として、来年度の資料を作られるときに、阪南市の取組を地図に落とすと、海側に取組が偏っているのではないかと思う。それを見て、山側にも取組をしないといけないとか、面的な取組についても検討しやすいと思うので、参考として検討していただければいいと思いました。</p> <p>貝塚市は、水間鉄道が走っています。阪南市は海と山をつなぐ公共交通が弱いので、そこを考える必要があるのではないかと思いました。</p>
委員	<p>中山渓の方は、桜祭りなどで市も頑張ってくれています。また、中山渓には銀の峰ハイキングコースがあり、JRから近く、蛍も飛んでいたり、また、鳥取池緑地の桜の園は、市民活動団体が整備しており、キャンプファイヤーもできたり、市民の力で整備していますので、うまく宣伝していただいたり、企業の方の力も借りて何かできればいいのではないかと思っています。</p> <p>また、泉鳥取高校が閉校となり、今後の活用はどうなりますか。市民として、高校という広い土地が利用されなくなり、まちに高校生が来なくなり、人通りがなくなって、寂しいです。今後の活用として、新しい専門学校を入れるなどの話を聞いたが、どう考えていますか。</p>
事務局	先ほどの副委員長と2つの意見を併せて話させていただきます。

	<p>現在、前方の画面に映しているのが市長が書かれたグラレコで、環境省から助成金の取組のもので、海、山、里、川の環境を活かした観光の取組について記載したものです。また、環境省の助成金については、全国 10 団体で選ばれましたが、地方公共団体で選定されたのは阪南市だけです。</p> <p>グラレコでは、海と山が近く、間に里と川があります。海と山をつなげて、川を活用する取組です。本市は、関西国際空港も近く、柱の一つとして、インバウンドの取り込みも考えており、環境省は非常に期待されている状況です。内容は、まちの活力創造課で資源を探すことや、掘り起こしを行い、その資源の中から検討しています。山においては、山登りの好きな人を探して、活動サークルを作ることなどを考えています。</p> <p>中山渓の資源についても整理しています。ハイキングコースも含めて、検討しているので、もう少し待っていただければ、成果を報告できると思います。</p>
委員長	泉鳥取高校の活用については、どうですか。
事務局	大阪府の所管ですが、大阪府からは、市民のために使っていただければと聞いています。都市計画の用途地域が、第 1 種低層住居専用地域ですので、活用方法が限られていますが、大阪府と活用方法について、活発に議論しています。
委員長	情報提供ですが、廃校を活用する事例は、全国で 200 校ほどありますが、和歌山県の田辺インターを降りたところに、秋津野ガルデンという空いた校舎を活用した事例があります。この事業は、地域が校舎を買い取り、改修して運営していることが、一番すごいと思っています。市役所だけでなく、地域の方々の活動にも期待したいと思います。
副委員長	中山渓は、街道の拠点として指定されている場所であり、歴史、自然とすごいポテンシャルがあると思っています。阪南市の山の活用はまだ弱いので、里山保全活動を市が実施していくのは、なかなか厳しいと思います。最近は、企業が保全活動をしており、PR している事例もあるので、そういった地元企業の誘致から始まって CSR 部門をお持ちの会社と連携して、可能性があれば、取組の 1 つとして展開できればいいのではないかと思います。
委員長	せっかく、海と山が近いので、何かしらつなぐ取組を検討していただければと思います。中山渓は熊野街道でもありますので、立派な町並みが残されています。この周辺との連携があればよりいいのではないかと思います。 また、JR と南海の方も来ていただいていますので、JR と南海を使ったパッケージツアーガってもいいのではないか。そうすれば、win-win の関係が築けて良いのではないかと思います。また、同じパンフレットが両駅に置いているなど素敵な連携をお願いしたい。また、関西エアポートにも英語版をおいていただくなど、市役所が中心となって取組を考えていただければと思います。
委員	JR と南海電鉄の連携の話は、非常にありがたいと思います。 また、路線バスが少ないので、観光バスなども検討していただけたらありがたいと思って

	います。
委員長	<p>JRと南海は、線路幅が同じなので、市を縦断する縦の鉄道を市役所もお金を出して、検討していただければ面白いのではないかと思います。</p> <p>また、1点聞きたいことがあります。</p> <p>学習支援アプリは、どう使っていますか。学校任せなのか、使い方を取りまとめていますか。</p>
事務局	各学校が手探りで取り組んでいますが、各学校の優れた取組を教育委員会を通じて市全体で共有しています。この取組は非常に好評で、子どもたちの意見も聞きながら進めています。
委員長	<p>ありがとうございます。なぜ確認したかというと、実施しただけではなく、実施して、どういった成果があるかを確認したかった。この取組を取り入れて、成果がどのようにあったかを資料で示していただきたいと思います。</p> <p>また、J:COMさんは、過去の放送番組を含めて、ものすごい情報があると思います。それを学校で活かすことはできないでしょうか。NHKにおいては、大学だけですが、デジタルアーカイブを公開しており、利用できるようになりました。J:COMさんも教育に活かしたアーカイブがあればありがたいです。また、J:COMさんは「ど・ろーかる」というアプリで、市域外の方も地域の情報番組をご覧いただくことができますので、それをご覧になって移住される方もおられると思います。ぜひ皆さんダウンロードをお願いします。</p> <p>また、私事ですが過去に、市民グループでJ:COMテレビを流していました。市民グループでも支払える金額ですので、また、検討していただければと思います。</p> <p>他にありますか。それでは、次の議題に移りたいと思います。</p>
第3期総合戦略の進捗状況（令和7年度主な取組状況）について	
委員長	それでは、次第の5. 議事案件、「第3期総合戦略の進捗状況（令和7年度主な取組状況）について」を事務局から説明をお願いします。
事務局	<p>それでは、第3期総合戦略に基づく令和7年度の主な取組にかかる進捗状況等について、報告いたします。</p> <p>36ページに、本市の人口動態及びまちの現況を、37ページに人口推計及び目標とする人口を、38ページに人口維持・増加に向けて取り組むべき事項と将来展望を、将来ビジョンと本戦略で取り組むことを39ページに記載しており、第3期総合戦略では、市民自らが『私のONE ACTION』を起こし、結婚、出産、子育て、就労などの希望を叶えたり、事業や活動に挑戦することで人を呼び込み、地域を活性化し、魅力的なまちをつくるための仕掛けづくりを着眼点として取り組んでいます。</p> <p>第2期総合戦略の取組状況や成果を踏まえ、今まで以上に市民が主人公となるまちづくりを行うことで、より市民自身に活気が生まれ、成果を実感でき、活力あふれる持続可能な</p>

	<p>まちづくりをめざします。</p> <p>40 ページに施策体系を、41 から 46 ページに重点施策を掲載しています。</p> <p>48 ページは、令和7年度からの新しい交付金についてです。第2世代交付金やデジタル実装型、地域防災緊急整備型などの種類があります。</p> <p>本市では、49 ページのとおり、地域防災緊急整備型を活用して、VRなどのデジタル技術を活用した防災訓練、防災講習を行う事業の採択を受けています。</p> <p>50 ページ、新たな取組として、今年度、良好な環境を活用したインバウンド観光の推進を図ることを目的とした環境省公募モデル事業に選定されて、自然共生サイトである「阪南セブンの海の森」を対象に、森里川海をつなぐコンテンツの造成等を実施し、持続可能で好循環な地域づくりの実現をめざします。</p> <p>51 ページ、令和6年度にスタートした、まちづくりチャレンジトライアル・サウンディングについては、対象エリアを文化センター前に拡大して、「おさきの夜店」などのイベントも行われています。</p> <p>そのほかの、令和7年度の第3期総合戦略にかかる主な取組については、52 から 53 ページでまとめています。</p> <p>仕掛けのところでは、7月に「阪南アンバサダー制度」を創設し、市内外で活躍する方々に、市の魅力を発信していただく取り組みをスタートしました。これにより、市の知名度向上や関係人口の拡大を図ってまいります。</p> <p>基本目標1では、教育・保育施設の利用者の負担軽減を図るための給食費などの支援や、校内教育支援員の配置などを、53 ページ、基本目標2では、企業誘致の促進のほか、ふるさと納税（個人版・企業版）の強化に向けた取組については、6月には、ふるさと納税特化班を立ち上げ、返礼品や広報戦略の強化、地場産業との連携を進め、収益事業としての効果を高めております。</p> <p>また、地域ポイント事業については、6月に委託事業者を選定し、12月の事業開始に向けて準備を進めているところです。</p> <p>基本目標3では、良好な環境を活用したインバウンド観光の推進や、大阪・関西万博の自治体参加催事へ出展、阪南市初！ランタン夏の一大イベントを開催、尾崎駅周辺の魅力創出やエリア価値向上をめざした社会実験などを、最後に、基本目標4では、VRなどのデジタル技術を活用した防災訓練、防災講習会の開催や、「はんなん健康応援プラン」を推進などを進めています。第3期総合戦略の進捗状況の説明は以上です。</p> <p>委員の皆様には、現在取り組んでいる令和7年度の取組に対して、ご意見や次年度に向けてのアドバイスなどいただけますと幸いです。</p> <p>どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
委員長	今回は「取り組んでいます」という報告ですので、来年度に成果を報告いただくことになると考えております。それでは、何かご意見、ご質問ございませんか。

委員	計画の中に、子育て拠点再構築の見直しの記載がされています。市民を代表して、意見を言わせていただきます。下荘保育所が廃止になるということの説明を受けました。急すぎるのではないかという意見が多数ありました。公立の保育所がなくなり、民間になると聞きました。隣の石田保育所は利用できるかはわからないといわれています。下荘保育所は、閉園となって、新しい保育所は見学できません。見学することができない保育所へ入所させるのは難しいという意見が多くありました。そのような子育て中の市民の意見が反映されていない状況になっていますので、子育て中の人にとって安心できるまちとして、考え方を直すことや卒園まで待つなど時間的な配慮をすることはできませんか。子育て中の方へ配慮していただき、安心して暮らせるまちをめざしていただきたいと思っています。また、人口対策として、少子化対策会議もやっていますが、担当課の方以外にもまちづくりや、子育中の方にも来ていただいて、実際のリアルな声を聞いていただいて、居場所づくりや、市政に反映していただけたらいいと思っています。
委員長	私は泉大津市役所で子ども・子育て委員を務めていました。泉大津市でも、保育園の民営化を進めています。民営化について、とても丁寧に市民へ説明しています。市民の不安を払拭する1つの方法として、条件付き公募を実施していました。阪南市も市民の不安感をなくすための手続を取っていただければと思います。泉大津市では、多くの意見書が届いていましたが、丁寧に対応していました。市民の不安を取り除けるようよろしくお願ひします。
委員	雇用の話ですが、関西空港には、約1.8万人が働いており、国の目標の2030年にインバウンド6,000万人をめざしています。6,000万人をめざすために、飛行機の増便をしていくことを考えております。また、その6,000万人を受け入れるために、働くの方を増やしていきたいと思っています。現在、空港で働いている方の約1万人は、泉州地域に住んでいますので、阪南市にとっても空港が雇用の創出場所として、認知度が上がってほしいと思っています。今後の計画の中で、阪南市の雇用を創出の場として、力を入れていただければと思います。
委員長	後々連携を図っていただければといいと思います。
委員	商工会は市と協力して、地域ポイントを進めようとしていますが、市の方では、企業誘致の促進をもっと頑張っていただきたいと思っています。企業がくれば、人も増えます。熊本県菊陽町では、時給2,000円でも働き手が来ないとのこと、阪南市からでも仕事に行っている状況です。やはり大企業誘致していただければ、固定資産税もあがるので、地方創生のためにもご検討いただきたいです。
委員長	なかなか用途地域の制限がありますので、そこは今後の課題として期待していただきたいと思います。
委員	総合戦略のなかで、「私のONE ACTION」というキーワードがありますが、英語があると、なかなか躊躇されますし、解釈が難しいのではないかと思いましたので、日本語で記

	<p>載されたらいいのではないかと思います。</p> <p>また、P52で学校教育でのインターネット化について、記載があります。小中学校タブレット端末について、小中学生の方が熟練していると聞いています。全学校でインターネットを使うと回線が足りないという話も聞いていますので、インターネット配線強化などの対応の検討をお願いしたい。</p>
副委員長	<p>関西空港さんの雇用話は定住につながるので、非常にありがとうございます。</p> <p>関西国際空港ができたときに、関空やりんくうタウンほかの影響を受け、周辺市町で居住者が20万人ほど増えるのではないかと言われていましたが、最初は南側にあまり来ないという状況でした。現在は、外国人の方も非常に多く来られており、SNSを見て来られている部分もあると思いますが、実際に目に入ってくるパンフレットも重要と思っています。</p> <p>また、小学校や防災などには、デジタルを使っていると思いますので、もっと積極的にデジタルを使った行政を進めるのがいいのではないかと思う。戦略的に検討していただければと思います。デジタルの取組が少ないので、他にも実施している取組を教えていただきたいです。</p>
事務局	市役所の中で、DXを進めるために、庁内の取組については、整理が進んでいます。また、庁外では、委員からもあったが、阪南市地域ポイント事業は、アプリのみでの運用を考えています。他にも、阪南市の地域電子回覧板も2地区から4地区に増えています。デジタルの取組については、デジタルデバイドの取組と併せて進めています。
委員	地域電子回覧板の話がありますが、デジタル化がどんどん進んでいることを感じますが、阪南市は高齢化率が高いです。高齢者の方々への対応については、どう考えていますか。
事務局	地域電子回覧板については、普及率が100%の地域もありますが、80%の地区もあって、残り20%の方へは、地区の方から手渡しすることになっています。デジタルデバイド対策で、地域の方で教え合うこともありますが、デジタル支援員があり、市民の方の支援をしています。
委員長	利用できるように促すことと、どうしても利用できない方は、紙媒体の配布という2つの方法で対策するということです。
委員	阪南アンバサダーについて、市民主体によるまちづくりを推進すると記載していますが、どのような人が集まって、どのような活動していますか。
事務局	現在、40人の方を登録しています。多種多様な方を登録しています。今までの制度では、登録することが難しかったという点がありましたので、阪南アンバサダーは間口を広げて、得意分野を活かすという方を登録して、阪南市をPRしてもらうことを考えております。阪南市のまちづくりにつながると思っています。
委員長	委員の質問は、具体的にどのような人がいているのかを聞いており、活動を聞いたらいメージしやすくなると思いますがいかがですか。

事務局	特殊メイクの特技のある方、トップアップストア運営の方、観光とかのPRが得意な方、文化教室の方など、色々な人材がいる状況です。
委員	阪南市は市民活動されている方が非常に多いと思っています。賑わいづくりも阪南市と協力して、頑張ってもらいたいと思っています。阪南市の賑わいを作るために、アンバサダーの方々に協力していただいて、PRすることも重要と思っています。一方で、阪南市の市民活動では、市民の普段の生活を支援するための取組として、介護の活動や、引きこもりの活動など、長年活動されている団体がありますので、賑わい以外の安心して生活できるように活動されている方についても、PRしていただくことや、また、市役所として支援もあればいいのではないかと思います。そのような方をPRすることで、阪南市では、生活も安心して暮らせるということになるのではないかと思いました。地道に生活を守るために、活動されている方にも協力していただければいいのではないかと思います。
委員長	「アンバサダー」は、日本語訳にすると、「大使」なので、外向けに捉えられますので、誤解を与える部分があるのではないかと思いました。生活を支援する方の登録もあると思いますので、どういう目的で登録されているのか趣旨を明確にしていただければと思いました。 話は、変わりますが、1つ参考として、お話をさせていただきます。 観光と環境の連携は、環境に優しいエコツーリズムだと思うが、ニュージーランドに入国する際には、飛行機内で環境を大切しているなどのPRをしています。非常にわかりやすい言葉で、約束事を動画で説明しています。阪南市において、こういうことを大切にしているというPRの動画を作成していただきて、着陸前などで流していただけるといいのではないかと思いました。
委員	私も語学留学でニュージーランドに行っていたので、ニュージーランドが大好きです。動画の話は、航空会社に協力を得るのは厳しいと思うが、関西空港が保有している水素バスの中で見ていただくなどがよいのではないかと思っています。自然共創サイトで阪南市と共に創っていますので、そのような取組でも協力できればいいと思います。
委員長	様々な意見をいただきましたので、参考にしていただいて、これからも取組を進めていただければいいと思います。
意見交換について	
委員長	皆様何か意見ございますでしょうか。 (特になし) それでは、閉会させていただきます。事務局から連絡事項がありましたら、併せてお願いします。
閉会	
事務局	今年度の会議は、本日の1回です。 次年度の日程については、候補日が決まりましたら案内いたします。引き続き、どうぞよ

	ろしくお願ひいたします。
委員長	それでは、これで、本日の委員会を終了とさせていただきます。 ありがとうございました。